



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

日本特有のロボット観が拓く 心理援助におけるロボットセラピーの可能性

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 よく読まれている記事！

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
31831Views
OTEMON VIEW編集部

2 2021.03.05 社会とくらし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
25584Views
OTEMON VIEW編集部

3 2020.08.03 ころとからだ
「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！？
15217Views
OTEMON VIEW編集部

4 2021.04.02 社会とくらし
「大学広報」がNHKドラマ化。「ほぼ神崎真」が見た「大学広報」とは。
14324Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

日本には国民的アニメ『ドラえもん』をはじめ、ロボットと人間の交流を描いた物語が数多くありますが、世界、特に欧米諸国から見ると特異なことのようです。今回は、カウンセラーでもあり、臨床と理論の両面からロボットセラピーを研究する河嶋 珠実心理学部特任助教の解説で、物語に描かれたロボットと人間との関係に着目しながら、ロボットの活躍が心理支援領域へと拡大する現状について考えます。

(以下は主なポイント)

ドラえもん・アトムに見る、人とロボットの関わり

○完全無欠ではない。だからこそ面白い？

古今東西、物語における人とロボットの関係

○異なるロボット観。ルーツはオートマタと宗教観？

○「ロボットとは人間に逆らうもの」という根強いイメージ

ロボットに感じる「共感」「親近感」はどこから？

○日本ではロボットに感情移入する人が多い？！

ロボットセラピーから考える心理援助の可能性

○日本発のロボットが活躍するセラピーの現場

○臨床で目の当たりにする、明らかなセラピー効果

○ロボットと共に未来へ。これからの心理援助の可能性

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/2556/>



ロボットセラピーの現場で活躍するアザラシ型のロボット「PARO」

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西